



忍者の心を学ぶ
(読み聞かせ)



忍者になる準備をしよう
(忍者に変身して武器づくり)



忍者修行①
(床忍びの術)



(綱渡りの)



忍者修行①
(遠見張りの術)



ドラム缶風呂
(湯あみの術)



(親の学びプログラム)



保護者の活動

(ピラティス)



忍者修行②
(バランスの術)



(手裏剣の術)



(だご汁づくり)



野外調理

(試食)

4 成果と課題

(1) 成果(アンケート、感想より)

- ・「自然体験と忍者を合わせているのが面白かったです。子どもも興味を持って参加してくれました。」とあるように、「忍者修行」をテーマにしたことで、多くの家庭に興味を持ってもらうことができ、200名を超える申込につながった。
- ・忍者指導①では、研修指導員の指導の下、安全に配慮し、難易度や時間配分などを工夫したことで、すべての幼児が自分のできる精一杯のがんばりを見せながら各技に挑戦することができた。
- ・夜に実施した親の学びプログラムでは、「日ごろ父親同士で子育てについてじっくり話す機会がないので、今回同世代の子どもを持つ保護者と話をすることができてよかった。」「子どもへの接し方などを見つめなおすよい機会となった。」などの感想があり、アンケートの満足度も高かった。

(2) 課題

- ・年々多くの申込が増えており多くの落選者が出ている。より多くの方に体験の場を提供できるように、日帰りの事業で複数回実施するなど、実施の方法を見直していく必要がある。
- ・夜のプログラムが保護者はタイトで、子どもたちは持て余した。入浴(大浴場)にも配慮と時間が必要だったので、余裕を持たせるべきだった。
- ・「親子で」と銘打っているのに、1日目午後の忍者修行①では、補助を保護者に任せたり、保護者も一緒に技に挑戦したりしてもらうなど、親子で力を合わせる場面や、夜の忍者修行②も親子でコミュニケーションがとれる内容にするなど、保護者が活躍する場面を設定できれば良かった。